

別記様式第 1 号

地域材利用促進緊急利子助成事業利子助成申請書 記 載 例

1 事業活動の概要（設立年月日、従業員数、資本金、事業内容等）

(株)日本木材は、昭和 50 年 4 月 1 日に現在地において設立し、平成 24 年 4 月 1 日現在の従業員数は 65 名、資本金 8 千万円で、素材生産業、製材業を主体に事業展開している。(別添、決算報告書参照)

2 地域材利用促進に資する取組の概要

(1) 地域材利用に資する取組内容

- ・ 森林取得、施業受託の集約化を図り、経営規模を拡大し、生産性の向上を図り、安定的な素材生産体制を目指す。
- ・ 自有林をはじめ他の森林所有者からの施業受託により、スギを中心とした地域材の供給に取り組んでいる。地域材の安定的な供給体制を構築するため、高性能林業機械の導入等に取り組み、効率化、低コスト化を図り、取扱量の増大を指向。
- ・ 地域材を利用した消費者ニーズに対応する付加価値の高い製材品の生産・供給体制を築くため、加工施設及び乾燥施設の整備等に取り組んでいる。

(2) 対象資金に係る事業の概要

ア 森林の取得

取得(予定)森林は、 県 村内において 200ha、現況は、ヒノキ主体の人工林で林齢 20～30 年、総費用 2,800 万円、取得時期は 24 年 9 月(24 年 10 月の予定)。(別添売買契約書参照)

取得(予定)森林の位置は、別紙、位置図(広域図面上での場所)、森林計画図などに明示。

イ 林業機械、林産物の加工・流通施設等の導入

- ・ 高性能林業機械導入の一環として、本事業により、フォワーダ 1 台(社製 型 10,000 千円)を 24 年 8 月に導入。(別添フォワーダパンフレット及び見積書等参照)
- ・ 本事業により林産加工施設を新設する。
高速乾燥機 1 機(社製 型)を 24 年 11 月に導入予定、これに

係る建屋等の工事を 24 年 6 月に実施。

建屋建設、高速乾燥機の導入等の全体計画、総費用 30,000 千円の内訳等は、別添「工事等明細表」（工事項目別、事業費の内訳、補助金、対象資金、自己資金（手持ち、別途借入金別）、工事時期など）のとおり。

（別添高速乾燥機パンフレット、建屋設計図、見積書等参照）

ウ 事業用資産の分散防止

- ・相続により事業を継承することとなったが、他の相続権者から森林及び高性能林業機械を取得し、経営を維持する。

取得内容は、下記のとおりであり、森林の位置、合板加工機等については別添位置図ほか資料参照。

相手方	項目	数量	総費用(千円)	実施時期
日本二郎	森林	100ha	10,000	24.7.15実施済
日本三郎	合板加工機(社製)	1機	2,100	24.7.1実施済
"	フォークリフト(社製)	1台	500	24.7.1実施済
日本四郎	作業小屋	1棟	300	24.12目途に手続き中
計			12,900	

(3)(2)の取組による効果

項目	現状	事業実施後
ア．森林の取得	804 ha (県 市内 400ha、 県 町内 404ha)	1,004 ha
イ．林業機械、林産物の加工・流通施設等の導入	素材生産量7,000m ³ 素材加工量5,500m ³	素材生産量10,000m ³ 素材加工量6,500m ³
ウ．事業用資産の分散防止 森林 林業機械等	100ha 素材生産量5,000m ³	100haを維持 素材生産量5,000m ³ を維持

ア、イ、ウについては、非該当項目は削除する。

3 添付書類

- ・ 林業経営改善計画又は合理化計画の写し
- ・ 対象資金の金銭消費貸借契約書の写し及び償還年次表の写し
- ・ 上記2の(2)「対象資金に係る事業の概要」に係る説明資料
- ・ 平成 年度決算報告書及び事業報告書
(個人事業者の場合は、所得税の確定申告書の写し及び所得税青色申告決算書の写しなど)
- ・ 会社概要、パンフレットなど